



HAKUSAN
SHINKIN



2023 Report

はくさん信用金庫

2023年9月期／経営情報誌

(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

経営情報の開示

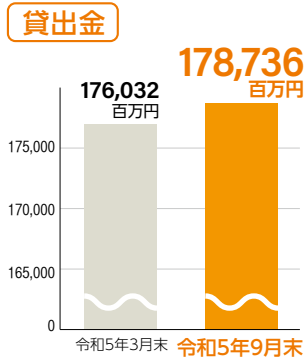
ディスクロージャー

DISCLOSURE

※本資料に掲載の計数は原則として単位未満を切り捨てています。

Q 貸出金の推移はどうか？

令和5年9月末の貸出金残高は、事業者の皆さまの様々な資金需要への積極的な対応を中心に、金融仲介機能の適切な発揮と円滑な資金供給に努めてまいりました結果、令和5年3月末比1.53%増加の1,787億36百万円となりました。



Q 有価証券の運用状況はどうか？

有価証券の時価状況

●満期保有目的の債券

区分	種類	令和5年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—
	地方債	999	1,040	40
	社債	1,266	1,288	21
	その他	200	200	0
	小計	2,466	2,528	62
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—
	地方債	734	712	△ 21
	社債	1,316	1,274	△ 41
	その他	4,106	3,954	△ 151
	小計	6,156	5,942	△ 214
合計		8,622	8,470	△ 152

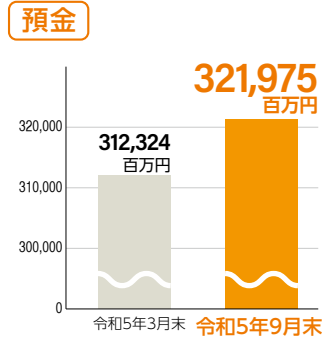
注1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいています。
注2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
注3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めていません。

●市場価格のない株式等及び組合出資金

区分	令和5年9月期
その他有価証券 非上場株式等	48

Q 預金の推移はどうか？

令和5年9月末の預金残高は、要払性預金、定期性預金ともに順調に増加し、令和5年3月末比3.09%増加の3,219億75百万円となりました。



Q 収益の状況はどうか？

令和5年9月末の収益は、本業の収益力を示すコア業務純益（除く投資信託解約損益）は2億68百万円、経常利益は1億91百万円、当期純利益は1億67百万円となりました。

	令和4年9月末	令和5年9月末
業務純益	233	258
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	237	268
経常利益	238	191
当期純利益	215	167

●その他有価証券

区分	種類	令和5年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	49	36	12
	債券	4,248	4,214	34
	国債	—	—	—
	地方債	1,412	1,399	12
	社債	2,836	2,814	21
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	その他	178	175	2
	小計	4,476	4,426	49
	株式	—	—	—
	債券	16,944	18,573	△ 1,629
	国債	6,561	7,515	△ 954
その他	地方債	2,330	2,548	△ 217
	社債	8,052	8,509	△ 456
	小計	8,796	10,535	△ 1,739
合計		25,741	29,109	△ 3,368

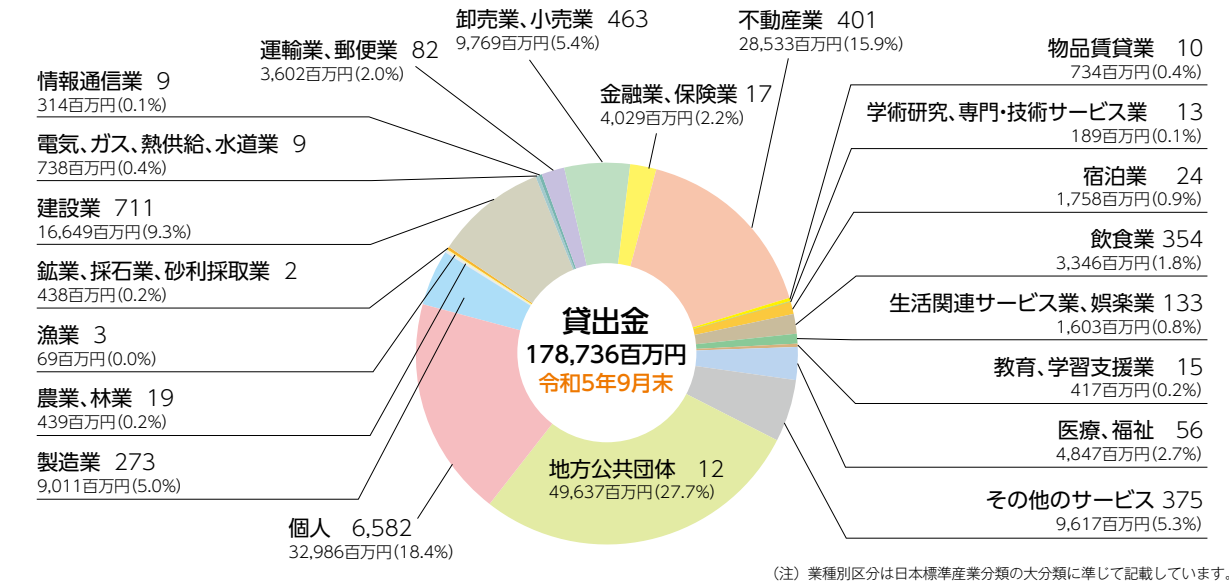
注1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。
注2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
注3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めていません。

Q 業種別の貸出金の状況はどうか？

令和5年9月末の業種別貸出金の状況は下表のとおりです。これからも地域のお客さまのニーズにしっかりとお応えできるよう努めてまいります。

業種別貸出金残高状況

表の見方 業種別区分 貸出先数 期末残高/百万円 (構成比率/%)

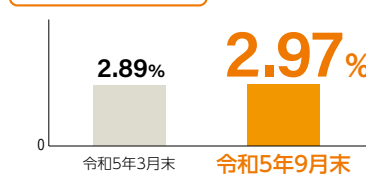


(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。

Q 不良債権の状況はどうか？

令和5年9月末の金融再生法ベースの不良債権額は54億5百万円、不良債権比率は、2.97%となりました。当金庫では、資産の健全性を確保するため厳格な自己査定を実施し、適正な不良債権処理を行っています。

不良債権比率



金融再生法開示債権とその保全状況

区分	令和5年3月末	令和5年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,998 百万円	2,947 百万円
危険債権	1,691 百万円	1,977 百万円
要管理債権	484 百万円	480 百万円
三月上延滞債権	21 百万円	21 百万円
貸出条件緩和債権	463 百万円	459 百万円
小計 (A)	5,175 百万円	5,405 百万円
保全額 (B)	4,532 百万円	4,689 百万円
個別貸倒引当金 (C)	2,937 百万円	3,017 百万円
一般貸倒引当金 (D)	12 百万円	14 百万円
担保・保証等 (E)	1,582 百万円	1,657 百万円
保全率 (B)/(A) %	87.57 %	86.75 %
引当率 ((C)+(D))/(A)-(E) %	82.10 %	80.90 %
正常債権 (F)	173,594 百万円	176,043 百万円
総与信残高 (A)+(F)	178,769 百万円	181,448 百万円

○上記の「一般貸倒引当金(D)」は、一般貸倒引当金の額のうち、要管理債権の債権額に対して引当てた額を記載しています。

Q 安全性はどうか？

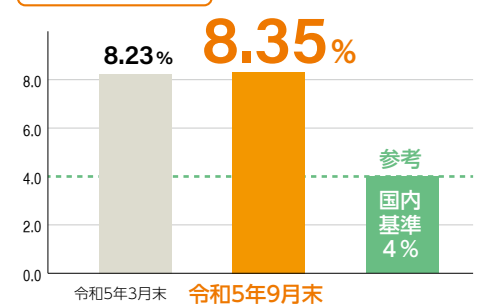
令和5年9月末の自己資本比率は8.35%となりました。信用金庫に適用される国内基準4.00%を大幅に上回っており、高い健全性を確保しています。

自己資本比率の算出方法

$$\frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100 = \text{自己資本比率 (8.35\%)}$$

自己資本額: 90億53百万円
リスク・アセット等: 1,084億18百万円

自己資本比率



「金融リテラシー講座」の開催

令和5年5月27日に根上支店のお取引先である株式会社日本海開発様の従業員の皆さま向けに、当金庫本部職員が講師となり「金融リテラシー講座」を開催、iDeCoやNISAなどを活用した金融資産形成について解説しました。



医療従事者応援定期預金「ホープⅡ」販売終了にかかる「医療従事者団体」への寄付金贈呈

令和4年6月から12月にかけて発売した医療従事者応援定期預金「ホープⅡ」の販売総額が目標金額を達成したことから、同商品の募集趣旨に従い、令和5年6月9日に金沢市立病院へ100万円の寄附を行いました。



地域応援定期預金「ライズ」の取扱開始

「北陸新幹線 石川県内全線開業」と「白山手取川ジオパーク ユネスコ世界ジオパーク認定」を記念するとともに、アフターコロナの地域活性化を応援するため、令和5年6月19日より地域応援定期預金「ライズ」の取扱いを開始しました。取扱いの開始を前に、石田理事長が石川県庁をはじめ各自治体を訪ね、同商品を紹介しました。また、当金庫においても同ジオパークの魅力を積極的にPRすべく、白山市内の営業店職員を中心に55名の金庫役職員が、白山手取川ジオパーク推進協議会による講習会を受講し、『水の旅案内人』として登録されました。



フードドライブへの取組み

当金庫では、SDGsおよび地域貢献の観点からフードドライブによるフードロスの削減に継続的に取り組んでおります。当年度は第3回となる取組みを実施し、お客さまならびに当金庫役職員からご提供いただいた食品を、令和5年6月30日に金沢工業大学内の株式会社学術社と一般社団法人ジェイキッズに寄贈しました。



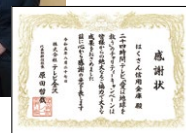
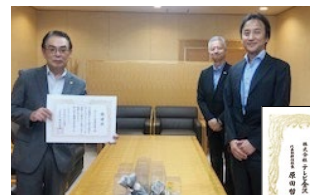
プレミアム1000社の会 会員向けセミナー

顧客組織「プレミアム1000社の会」の活動の一環として、会員事業者の皆さまの経営向上、経営課題解決に資するタイムリーな情報提供を目的に、各分野の専門家によるビジネスセミナーを開催しています。当年度は「運送業および建設業における2024年問題とその対策」などをテーマに計5回開催し、多くの会員事業者の皆さまにご参加をいただきました。



テレビ金沢24時間テレビチャリティー募金への協賛

当金庫では、社会貢献活動の一環として24時間テレビの募金活動に協賛し、募金活動を実施しました。皆さまから寄せいただきました募金は、令和5年8月28日に株式会社テレビ金沢に贈呈いたしました。皆さまの温かいご支援に、あらためて心よりお礼申し上げます。



「事業承継支援会議」の開催

事業承継支援の重要性が高まるなか、当金庫では、営業店職員の事業承継支援における対応力の向上を目的に、中小機構と連携し「事業承継会議」を開催しています。当年度は7月から9月にかけて当金庫の5つの営業地区で開催し、実際の事業承継案件を持ち寄り、顧客への提案や外部専門家への相談のポイントなど具体的な対応策について中小機構のアドバイザー（税理士、弁護士）とともに検討を行いました。



特殊詐欺被害防止に対する感謝状受領

小松東支店の竹田次長が、高齢のお客さまの特殊詐欺被害を未然に防ぎ、令和5年9月15日に小松警察署より感謝状が贈られました。当金庫では、お客さまの大切な預金をお守りするため、今後もお客さまへの積極的なお声掛けを通じ、詐欺被害の未然防止に努めてまいります。

